

## ○ 滋賀県甲良町の補聴器購入費助成制度案内

難聴などにより「聞こえ」の低下がある方の円滑なコミュニケーションの確保、地域交流などの社会参加、閉じこもり・認知症予防などを目的に

# ほちようき こうにゆうひ 補聴器購入費 助成がはじまります！

令和5年4月から

### 支給対象者

- 甲良町に1年以上お住まい（住民登録がある）18歳以上の方
- 医師の診断を受け、補聴器が必要と認められた方
- 身体障害者手帳（聴覚）に該当しない方

### 助成金の額

- 補聴器購入費用の1/2、上限40,000円

### 申請について

- 医師の診断を受け、「医師の意見書」をもらってください。  
←補聴器が必要なのか？治療が必要なのか？を医師により判断いただくためです。
  - 医師の診断に基づき、補聴器販売店で補聴器購入の相談をしてください。  
←裏面の内容をしっかり確認し、ご自分に合った補聴器を購入されるよう、「認定補聴器技能者」がいる「認定補聴器専門店」で相談されることをお勧めします。
  - 申請には、「医師の意見書」および「補聴器の領収書（3ヵ月以内）」が必要です。医師の診断を受けずに補聴器を購入しないでください。受診をしないで購入された場合は、助成できない場合があります。
  - 一度、助成を受けた場合、5年間は申請できません。
- ※「医師意見書」、「助成金申請書」は、保健福祉課窓口および町ホームページからも取得できます。補聴器を購入される前に、必ず、保健福祉課にご相談ください。

補聴器購入費助成に関するお問い合わせ先

甲良町役場 保健福祉課 **0749-38-5151**

■メールでお問い合わせの場合：hokens@town.koura.lg.jp ■FAXでお問い合わせの場合：0749-38-5150

## 補聴器購入費助成

（申請・相談：甲良町役場 保健福祉課）

上限額 4万円

補聴器を購入される前に・・・

助成を受けるには、医師の診断が必要です。受診をしないで購入された場合は、助成できない場合があります。

## 補聴器を購入する前に トラブルにならないために知っておくこと

医師の診断を受けずに補聴器を購入した方の中には治療が必要であったり、選んだ補聴器をつけていない場合があります。また知識・技術不足の補聴器販売店から直接購入したことでトラブルになるケースもあります。

ご自身にあった補聴器を見つけるには耳鼻咽喉科医（補聴器相談医）にご相談の上、適切な調整とケア、コンサルティングを受けることのできる専門の知識・技術をもった認定補聴器技能者がいる認定補聴器専門店をお勧めします。

## 認定補聴器専門店とは？

「認定補聴器専門店」とは、「認定補聴器技能者」が在籍し、補聴器の調整・測定に必要な様々な測定機器や設備について公益財団法人テクノエイド協会からの認定審査基準をクリアしたお店に与えられる資格です。

もっと詳しく知りたい方はこちら  
公益財団法人テクノエイド協会 ホームページ  
https://www3.tecno-aid.or.jp/teko/teko.php

## 補聴器相談医とは？



補聴器を用いた医療に関わる、日本耳鼻咽喉科学会から選出された医師です。必要に応じて販売店を紹介し、補聴器購入後も認定補聴器技能者と連携し、経過観察と適切な使い方の指導をします。

もっと詳しく知りたい方はこちら

公益財団法人日本耳鼻咽喉科学会 ホームページ  
http://www.jba.or.jp/collaboration/teko/teko.html

## 認定補聴器技能者とは？



認定補聴器技能者の役割……  
○ 補聴器を一人ひとりの状態に合わせて調整（フィッティング）、より快適な「聞こえ」を追求  
○ テレホ、電話、会話が聞き取りやすいの相談  
○ 「聞こえ」や補聴器のご購入のご相談  
○ 公的支援のアドバイス  
○ 補聴器相談医と連携した対応

認定補聴器技能者になるためには、4年間の補聴器調整・一定水準以上の指導と技術を修得し、公益財団法人テクノエイド協会の資格試験に合格する必要があります。

もっと詳しく知りたい方はこちら

公益財団法人テクノエイド協会 ホームページ  
http://www.tecno-aid.or.jp/teko/teko.html

## 補聴器購入の流れ

**STEP 01** 医師の診断  
難聴の診断・治療、補聴器が必要か効果があるか診断。

**STEP 02** 補聴器販売店に相談し、コンサルティング、適切な調整・フィッティングを受けて自分にあった補聴器を購入

難聴は一人ひとりの違いがあります。高い音（高周波）が聞こえづらくなっていたり、低い音（低周波）が聞こえづらくなっていたり、また、補聴器を使用する環境も違います。補聴器の性能を最大限に発揮するためには、補聴器を一人ひとりの聞こえに合わせて調整（フィッティング）することが必要です。

補聴器販売店で相談・購入する際のポイント  
○ 耳鼻咽喉科医からの紹介状を持参して行きましょう。  
○ ご家族などと一緒にいきましょう。  
○ 補聴器をどのように使用したいか（目的）を伝えましょう。  
○ どんな時に聞こえにくいかなどできるだけ詳しく伝えましょう。  
○ ご予算、価格等の相談もしましょう。

## STEP 03 補聴器は購入しただけで終わりではありません

日常生活の中で補聴器を使用するなかで、聞こえに不具合などを感じる事があれば補聴器販売店や再度調整をもらいましょう。購入後も調整と使用トレーニングやアドバイス等のケアを受けながら、自分にあった補聴器にしていけます。

## STEP 04 補聴器で聞こえの不具合が解消し、生活の質が向上

定期的なアフターケアを受けることで安心して使い続けることができます。耳あや汚れなどが原因で正常に聞こえない場合があったりします。定期的なケアを心掛けてお使いください。

また、聞こえに変化が生じたら耳鼻咽喉科を受診しましょう。

## 消費者へのアドバイス

- 補聴器を購入する前に専門家に相談すること
- 補聴器について情報を収集するとともに、専門的な設備や専門知識・技術を持った者がいる補聴器販売店で購入すること
- 耳の聞こえが十分でない状態での補聴器の契約には、耳の聞こえが必要
- トラブルになった場合など、最寄りの消費生活センターへ相談すること  
（最寄りの消費生活センターはホームページより参照）

一般社団法人 日本補聴器販売店協会が厚生労働省の補助事業として実施する補聴器販売店の技能向上研修資料より引用

## ○ 大阪府熊取町の広報での「耳の健康」特集号

大阪年金組合  
聞こえのバリアフリーを！  
**補聴器助成推進ニュース**  
2025.6.5 29号  
大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館6階  
TEL:06-6354-7207 FAX:06-6354-7746

助成自治体  
**熊取町** **6** 月広報で  
加齢性難聴と補聴器の

**特集号**

2025年4月から補聴器助成制度をスタートした熊取町では、4月町広報に助成制度の案内を掲載しましたが、6月号では表紙から5ページまでの「耳の健康」特集を組み全町民 18,954 世帯宅に配布されました。▶表紙「最近 えっ？が増えてない？」▶P2「加齢性難聴って？特徴」「聞こえの簡単チェック」▶P3 熊取町で耳鼻咽喉科を開院している医師の「違和感があればすぐ受診を」▶P4熊取町在住の言語聴覚士の「聴力を保つことは自分らしさを保つこと」▶P5「自分に合った補聴器の選び方」と「助成制度の案内」ときめ細かい内容に編集されています。ぜひ、ホームページで見て

## 住民に制度を知らせる広報

地域住民にいきなり制度を周知するかの一例として活用して下さい。年金者組合阪南・東支部では、6月下旬にも制度の利用状況や制度拡充等担当課の健康・生き生き高齢課との懇談を予定しています。

**補聴器購入助成**  
65歳以上の方を対象に『補聴器購入助成（上限：25,000円）』を実施しています。  
補聴器販売店で見積書をもったら、購入前に申請してください。  
※条件など詳しくは、町ホームページをご覧ください。  
■問い合わせ 健康・いきいき高齢課 ☎452-6285

住みたい 住んで  
“やすらぎ”

広報くまとり  
**KUMATORI**  
令和7年  
**6** 月号  
No.889

特集  
最近「えっ？」が増えてない？